



桜が終わると、新緑が一斉に芽を伸ばしはじめ、園庭の芝生も緑が美しい季節です。

4月の誕生会が終わったばかりですが、なんと誰も泣かずに、座って参加できました。“ちゃんと”は求めています、なんだか自然と“ちゃんと”していました。

子ども達は幼稚園では“ちゃんと”しているけれど、ご家庭だと暴君と化す、とよく聞きます。場合によっては、これはとてもいいことと言えます。ご両親にちゃんと甘えることができ、安全基地だと認識しているから、安心して暴れることができる。どんなに暴れても、わがままを言っても、ちゃんと愛されている、ありのままを受け入れてもらえる、という実感があるからです。

逆に幼稚園でみんながちゃんと話を聞いているのに、聞けない子もいます。叱られることがわかっているのにわざと叱られるようなことをする子も稀にいます。叱られるとわかっているのに、なぜ叱られるようなことをする子がいるのでしょうか？

30人で話を聞いていても「ぼくがぼくが」「わたしがわたしが」と自分の話を聞いて！とばかりに訴えてくる子がいます。子どもは「あなたが大切」「あなたのことを見ていますよ」と受け入れて欲しいのです。家庭でしっかりと親に受容されることが、子どもの心を安定させるのです。安定すると周りの子が見えてきます。他の子への思いやりはその次の段階です。

人間の一生はだいたい八段階くらいに区分されるといわれています。第一段階は、一番大切な第一段階の「受容」。第五段階で大人になる過渡期＝アイデンティティの獲得の時期がきます。最近はこのアイデンティティの獲得という関門を乗り越えられない若者が増えていると聞いています。アイデンティティの獲得とは「自我同一性」＝「心のよりどころ」のことを言います。「心のよりどころ」を求めて集団とうまく繋がれない、不登校、ひきこもり、様々な依存症、親になってからの我が子への虐待。そういうものが増えているのは皆さまもご存じのことだと思います。

こんな難しい言葉で説明しなくても、幸せに暮らせている私たちは幸せなのだと思います。幼稚園の時期は親御さんとの時間がたくさん持てる時期です。たくさん愛情をかけて育ててください。「愛されている」と実感できた子どもは強いです。友達にも優しくできます。

「人間は集団の中でつながり合って生きる動物」です。つながりを求める動物とも言えます。幼稚園ではそのつながりを円滑に、自我と折り合いをつけながら、子ども達は生活をしています。幼稚園では我慢もしていることでしょう。そのストレスが家庭で発散されているのも想像がつかます。でもストレスはそう悪いものではなく、

成長を促すものであるともいいますので、鬱憤を晴らすことがあっても、少々大目に見てください。

今年のゴールデンウィークは3日から7日まで幼稚園はお休みです。今年は5月7日を創立記念日として休園させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ください。

ホームページにはパスワードでロックされたページに毎日の活動の様子を写真に撮り、名前を消してアップしています。この写真はメモリッジという会社を通して購入することができます。幼稚園のホームページでは載せきれなかった写真もたくさん見られるはずですので、ぜひご登録ください。

Instagramには毎日の給食の画像と、時々動画を載せています。ここは子どもが誰か、他人には判別しにくいくらいのサイズでアップします。インスタライブをすることもありますので、Instagramをしたことがない方も、是非アカウントを取得してください。

お弁当の投稿もホームページにアップしています。投稿をお待ちしています。

「子どものつぶやき」を常時募集しています。ホームページからも投稿できます。ご提出くださった「子どものつぶやき」は、年度末（3月）に、小冊子にして毎年配布しています。教員達にも子ども達との会話をメモするように伝えており、毎年たくさんのつぶやきが集まります。子どもとの会話をぜひメモしてみてください。子どものつぶやきは“生きている心”です。この時にしか発せられない子どもの言葉を、キャッチして書き留めておけば、いつか忘れてしまうはずのことが、記録として残ります。

*幼稚園の防災倉庫には長期保存できる食品や毛布などを備蓄しています。防災費（500円）の集金をさせていただきましたが、年度末に食品を持ち帰ります。

園長 志田 裕美子

<担任から今月のメッセージ>

ついに大きい組ですね。小さい頃からこの学年はパワフルだと聞いていたので、体力が持つかしら……と心配しつつ…ワクワクしつつ…みんなの勢いに乗り上手く転がされながら、毎日大爆笑で卒園まで走っていきたいと思います。

初日のみんなの様子ですが、最初は表情が硬くなり、クラスに入ることが恥ずかしそうな子や不安そうな子もいました。平常心を保って支度をしていた子も提出するものが多く、分からなくなってしまったことでドキドキが爆発して、涙を流してしまう子もいました。何でも聞いてね～と伝えてはいたものの、なかなか聞けなかったようでした。しかし、周りの友達がすぐに駆け寄って「大丈夫だよ」と助けてくれて、思いやりの気持ちが嬉しくて感動しました。

良い機会だったので、提出物など分からないことがあったらどうする？と話し合うと、「先生に聞く～」とすぐに答えてくれて、昨年は質問するとみんな顔合わせてじっくり考え込んでしまうクラスだったので、即答して

<2ページへ続きます>

くれたことに、すごい！さすが！！という意味で、え～！！と驚き、感動していると、間違えてると思った他の子が「友達に聞く」「自分で考える」と次々に答えてくれました。さらに私はすご～いと感動していると、「どれが正解なの？」と首を傾げていたので、全部正解なんだよと伝えると「えー？全部いいの？」と驚きの声が沸き起こりました。

まず、
周りを見て自分で考えてみる。
分からなかったら、近くの友達に聞いてみる。
それでも解決できななかったら、最後に先生に聞いて解決すること、が大事なんだよと話すとるほど！と真剣に頷いて聞いてくれました。そして、やらないで欲しい解決方法はそのままにして、お家に帰ること。ママに聞くこと。と話しました。幼稚園のことはお家の人には分からないこともあるから、お家に帰ってからでは解決できなくなってしまうんだよと伝えました。自分で考えて行動できるようになるためにも、もしカバンから出せずにいる手紙袋や渡さなければならないものが入っていたら、自分で出すように言葉かけをお願いいたします。

話し合いの中でまだ緊張してるの？顔がこーんな感じでこわ～いに変顔で伝えると、やっとリラックスしたようで、「ドキドキしたけどもう大丈夫～」と笑顔を見せてくれたので安心しました。

大きい組としての自覚も出て気を張っているようなので、たくさん認めていきながら息抜きもできるようにフォローしていきたいです。

幼稚園最後の1年……。
あっという間に過ぎていく日々が、充実した時間となるようにみんなに学ばせてもらいながら、一緒に楽しみたいと思います。参観などでお会いできる日を楽しみにしています。
何か気になることがありましたら教えていただけたら幸いです。
1年間よろしく願いいたします。

※お知らせが遅くなりましたが、今年もみらいちゃんが少しの期間、ほし組のみんなと一緒に遊んでいます。
予定では5月末くらいまできてくれるので、たくさん思い出を作っていきたいです。

山口 朱美